

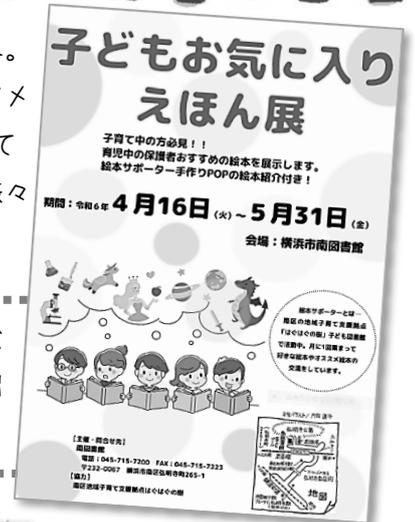
# にこで ~和手~



2024年春号 南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 発行

予想よりゆっくりの桜前線。入学・入園式をお祝いしてくれているようです。公園や大岡川沿いに新たに植樹されているのを見ると、桜の代名詞ともいえるソメイヨシノではなく、ヨコハマヒザクラ（横浜緋桜）、ジンダイアケボノが選ばれていることが多いようです。桜は南区の花。形や色の濃さの違いを楽しみながら様々な桜の魅力を味わえるのは嬉しいことです。

南図書館で開催される右のチラシの展示会。はぐはぐの樹で活躍している絵本好き利用者さんの自主活動グループ「絵本サポーター」が主役です！絵本を紹介する素敵なPOP(ポップ)の数々をぜひご覧ください。



## 子育てパートナーの南区の子育て支援活動紹介 子育てサロン つくしんぼ ちびっこルームかのえ



コロナの影響で休止していた子育てサロンつくしんぼは、昨年の7月に再開しました。毎月イベントを企画して町内会の掲示板で周知しているそうです。

訪問した日は地域の親子3組が来所したので、4月からの生活のことなど皆でお話しました。後半は防災についての講義があり、子育て家庭向けの具体的な内容で皆さん熱心に聞いていました。子育て中のママも担い手としてサロンに関わっているとこのことで、地域で繋がりを持っている様子を頼もしく感じました。



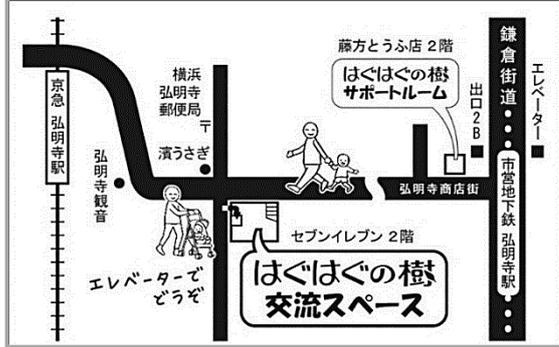
ちびっこルームかのえは主催者の根本さんがご自宅を開放して開催している子育てサロンです。訪問した日にはご近所さんの2組の親子が参加していました。この場所のことを一人の方は先輩ママから聞いて、もう一人の方は赤ちゃん学級で保健師さんから紹介されて来るようになったそうです。

現在は12時までの開催ですが、以前は13時までだったのでお弁当持参で来る方が多かったとのことで、ママ達がお弁当を食べている間、根本さんがお子さんたちを見守っていたそうです。さりげなくママ達の相談にもものっていて、気軽に立ち寄れるサロンの大切さをあらためて感じました。

**子育てサロン つくしんぼ**  
開催日時：毎月第1水曜日 10時～12時  
対象：0歳から未就園児と保護者  
会場：南永田町内会館（南永田 2-9-26）  
会費：100円



**子育てサロン  
ちびっこルームかのえ**  
開催日時：毎月第1水曜日 10時～12時  
対象：乳幼児と保護者  
会場：根本さん宅(庚台36)  
会費：100円



「にこで~和手~」第47号  
【発行】南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 (サポートルーム)  
〒232-0056 南区通町 4-115 アイライン弘明寺2階  
TEL:720-3655 FAX:715-3815 MAIL: info@haghagnoki.jp

★年4回発行しています。ご意見ご感想お待ちしております！

## 支援者向け講座 開催報告

### 「離婚・再婚後の子育てをどう支える? ~ステップファミリーが幸せに生きるには~」

12月22日大岡地区センターにて、SAJ (Stepfamily Association of Japan) 代表の緒倉珠巳さんを講師に迎え開催しました。南区内外から支援関係者20名が参加し、途中グループワークを交えて学びを深めました。

#### 【参加者の感想より】

- 離婚、再婚についての固定観念を改めることができた。実際に動画でそれぞれの立場の想いを聞くことができ、ステップファミリー内で複雑な状況が生じやすいことが理解できた。
- ステップファミリーの現実について全く知識がありませんでした。アウトサイダーになってしまう立場のこと、知ることができました。今まで刷りこまれた家族像、親像ではなく小さなユニットを大切にしていくという考え方は新しかったです。抱きしめてあげたら、という言葉は実は困難だということも。もしかしたら相手は求めていないかも、と考える余裕も大切。一生懸命であるのかえってそこで難しくなっていくということは、日々のいろいろな人間関係にも言えることだなあ、と考えさせられました。



## 第2回南区もっとネット会議 報告

### 「子育て家庭のニーズに合った支援の工夫を考えよう」

2月6日(火)南区役所にて、令和5年度第2回南区子育てもっとネット会議が開催されました。35団体・施設から40名が出席し、上記テーマでのグループトークを中心に意見交換・情報共有を行いました。

#### <<グループトークの記録より>>

- ◆ 参加者同士が関わられることを重視している。ティータイムを設けてほっとする時間を提供している。
- ◆ 育休中の限られた時間に地域の情報が得られるように意識し、防災情報(避難場所等)に触れられるようにしている。
- ◆ 初めての場所には生きづらいとの声がある。紹介するときに、実際に自分が行って見た情報を伝えたり、写真などで雰囲気伝えたりするとハードルが下がるのではないかな。
- ◆ タウンニュースやJ:comで情報発信を行っている。民間企業を上手く活用すると、あまりお金をかけずに発信できる。
- ◆ ママ同士、パパ同士繋がりたいと思う人もいれば、繋がりがたくない人もいる。ママ同士のライン交換もハードルが高そう。すごく仲良くなっているママ同士もいるが、ずっと一緒に疲れないのかと思う時もある。
- ◆ 保育参加を去年再開した。「参加」なので、保育士と一緒にいろいろやってもらった。そういうもので保育園のことを知ってもらって、こどもにとっても良かったと思った。保護者にとっても子育てがどうしたら楽しくなるのかを一緒に考えて支援していきたい。
- ◆ 子育てサロンを卒業する人をスタッフとして引き入れている。子連れでもスタッフになってもらい、サロンの担い手になる若い人を受け入れていく。第2子になってから再び地域とつながる人もいる。
- ◆ 日本語が分からない外国人の方を地域の方がひろばに連れて来てくれた。日本語を習いたいとの希望があり、みなみラウンジや学習支援の場を紹介した。支援につながりにくい人には支援者が踏み込む必要性がある。
- ◆ まちのほっとスペーススタンプラリーは有効だった。何かきっかけがあると新しい場所に行ける。



会場内にすべての子育てサロンのチラシを掲示、はぐはぐの樹で貸出しているエプロンシアター、パネルシアターや布おもちゃなどを展示しました。

